

編集後記

社会保障研究所・第三代目所長福武直先生は、1986年3月31日付で御勇退され、小山路男先生がその後任の所長とされました。本号は永らく研究所を主宰された福武先生に感謝の意を表する意味で、退任記念号とさせていただきます。できるだけ多くのかたがたの御執筆をお願いすべきと考えておりましたが紙幅の関係もあり、おもに当研究所関係のかたがたに執筆していただくことになりました。昭和60年度のプロジェクト報告も福武先生が特に関与された研究プロジェクトであります。

俗に家と事業は三代目で決まると申します。初代所長山田雄三先生、二代目所長馬場啓之助先生の後継となられた先生は、研究所の徳川家光として(?)抜群の企画力と実行力で社会保障研究所を率いてこられました。在任中、東京大学出版会より刊行された数々の当研究所研究叢書もその一つであります。編集子などはフーフーいしつつも、先生の哀愁のこもった背中をみると、がんばらなくっちゃと小さな胸に誓ったものであります。

御退任後、病に倒れられたものの不死身の福武先生は、たまに研究所に見えられるたび、ますますお若く素敵になっておられます。福武先生の御薫陶を受けた私たち研究員はそんな先生に見守られつつ、社会保障研究のエキスパートとして伸びていきたいと思います。今後ともよろしく御指導くださいますようお願いいたします。

なお、城戸喜子主任研究員の「スウェーデンの社会福祉制度」は、紙面の都合上、次号にも掲載させていただくことになりました。御了承くださいませ。(Y. K.)

編集委員長 小山路男 (社会保障研究所長)

編集委員 地主重美 (千葉大学教授)
都村敦子 (社会保障研究所研究部長)
西三郎 (東京都立大学教授)
庭田範秋 (慶応義塾大学教授)
野口悠紀雄 (一橋大学教授)
福武直 (東京大学名誉教授)

保坂哲哉 (上智大学教授)
星野信也 (東京都立大学教授)
堀勝洋 (社会保障研究所調査部長)
三浦文夫 (日本社会事業大学教授)
宮澤健一 (一橋大学教授)

編集幹事 大本圭野 (社会保障研究所主任研究員) 下平好博 (社会保障研究所研究員)
木村陽子 (社会保障研究所研究員)

(五十音順)

季刊

社会保障研究 Vol. 23, No. 1, Summer 1987

(通巻96号)

昭和62年6月25日発行

編集・発行所

社会保障研究所

〒107 東京都港区赤坂2丁目19番8号

赤坂2丁目アネックスビル内

電話 (589) 1381

製作

財団法人 東京大学出版会

〒113 東京都文京区本郷7丁目3番地の1

電話 (811) 8814